

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report



らぼニュース

CONTENTS

- 巻頭言 精度管理事業部の活動について…………… 1
- 地区だより (西三河)…………… 2
- 研修会・講演会・研究会…………… 3
- AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信 (第70回) …………… 4

精度管理事業部の活動について

精度管理事業部 部長
菊地 良介

令和2年度は、新規に遺伝子・染色体検査部門及び生殖医学検査部門の外部精度管理調査を立ち上げました。これにより愛臨技学術部の9研究班11部門すべての分野が参画する事業となりました。

そのような中、精度管理事業部としましても新型コロナウイルス感染症への対応に迫られ、まず2019年度愛知県臨床検査精度管理調査結果報告会の中止を決定し、その後本年度の精度管理事業全体を見直いたしました。特に、定量系項目をもつ分野では、個別的な参加申込形式を取り止め、セット化による対応を決定いたしました。定量系分野の試料配布は中止にすべきではないか、とのご意見も賜りましたが、歴史ある精度管理事業を継続して遂行するための決断でした。

その結果、本年度の愛知県臨床検査精度管理調査は142施設からの参加申込みを頂きました。これは昨年度に比較しても大きく変わらない数字であり、精度管理調査自体の需要が高いことを改めて認識いたしました。新規分野の遺伝子・染色体検査分野、生殖医学検査分野でもそれぞれ32施設、24施設のご参加を頂きました。また、今年度の結果検討会は個別的なサポート対応とさせていただきますが、令和3年度は、ポストコロナ時代としてどのような形式で実施すべきか、精度管理調査の内容を含めて模索しながら、皆さまの良き相談相手になれる精度管理事業部を目指します。

精度管理調査には多くのマンパワーが必要です。設問作成や評価設定には各研究班班員の皆様のご協力をいただいております。また、評価に関する目標値設定には各賛助会員の協力が不可欠です。このように、精度管理事業は、さまざまな方面からのご助力をもとに精度管理調査を実施させていただきます。

この場をお借りして深く感謝申し上げます。

最後に、本年度の活動も残すところ総括集発行と精度管理調査報告会の開催となりました。本年度の報告会は、2021年3月14日(日)にウインクあいちで開催いたします。オンライン開催形式も検討しましたが、例年と内容を一部変更しつつ、感染対策を十分に行った上で実施することといたします。精度管理事業部一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2020年11月5日現在 正会員数 3,501名





足助病院

当院は JA 愛知厚生連グループ8病院の1つで、一般病棟100床、地域包括ケア病棟48床、介護医療院が42床あり、へき地拠点病院となっています。

豊田市北東部の中山間部に位置し、紅葉で有名な香嵐渓には歩いて行くことができます。豊田市の市街地から18km程離れており最寄りの高速道路の力石 IC や鞍ヶ池スマート IC から10km前後と近く、名古屋駅まで1時間ほどで行くことができ車での移動は意外と便利です。渋滞がないため通勤時のストレスはなくスピードの出しすぎには注意が必要です。そして運が良ければシカやイノシシ、うり坊に出会えることもあります。豊田市より平均気温は2℃程低く、冬に備えスタッドレスタイヤの準備は必須です。

診療圏は豊田市北東部地区だけでなく、愛知県の設楽町や長野県との県境にある根羽村まで広く占めています。少子高齢化が著しく当地区の高齢化率は42%となっています。(豊田市全体の高齢化率23%)



足助地区の街並み

それでは施設の紹介をします。当院の外観を見て、ここが病院?と思われる方も多いでしょう。2013年の建て替えで外観が至極色(しごくいろ：深紫色)になったのです。なぜ?って国の重要伝統的建造物群保存地区に指定された足助地区の町並みに合わせているためです。夜にライトアップされた外観は紅葉に匹敵するほど素敵ですよ。

病院内部の床はじゅうたんが敷き詰められ、暖かい雰囲気となっています。

そして各階のエレベーターホールは足助地区の四季折々の写真が飾られ院内に居ながら足助地区を観光した気分になり、心癒されます。

また、玄関ホールには地域の人々やバス待ちをする高校生たちが集い、病院内の施設を利用しカラオケ教室なども行われています。(コロナ感染予防の為、現在は中止されています。)

庭園には名誉院長の畑や誰でも自由に使用できる花壇、契約者が新鮮な手作り野菜を持ち込み自由に持ち帰ることができる広場など病院全体が地域住民のコミュニティーの場所となっています。

さて検査室は認定臨床微生物検査技師制度の研修施設で技師は検査科に8名、健診センターに1名在籍し、病理検査以外の大半を院内で検査している為、専門分野の認定を取得した技師も、オールマイティーに働いています。

院内活動として入院患者の昼前血糖測定、翌日の検査案内の説明、他部署(放射線科、栄養科、リハビリテーション科)と医療情報誌を発行、院外の活動としては、へき地巡回健診として20数ヶ所の集会所へ医師や看護師と出向き身長や体組成計などの測定を行いながら地域住民の方々と触れ合っています。

当院は2020年で設立70周年を迎え、職員による活動が動画で情報発信(あすけ進歩自由夢)されています。気象予報士でもある院長やエネルギー事業の代表を務める名誉院長の対談など楽しい話も聞けますよ。



香嵐渓のライトアップ

みなさんよければ一度足助病院ホームページ

<https://asukehp.or.jp/> をご覧ください。

「愛臨技事務所移転に関するお知らせ」

現在の愛臨技事務所(花車ビル)は築53年、事務所取得後27年が経過し、老朽化と技師会事業の拡大に伴い、手狭になってきました。

また、その対策として、事務所取得目的に300万円/年の積み立てを実施しており、計画的な事務所取得に向け、愛知県および会計事務所とも調整を図ってきました。

そこで2019年度定時総会にて事務所取得にご提案させて頂き、今年度定時総会では、会員の皆さんより、ご承認を頂くことができました。

愛臨技事業がこれからも安定的に運営できる、利活用しやすい事務所取得に向け委員会で検討しております。会員各位からもご意見や情報をごございましたら、是非とも愛臨技事務所へご連絡ください。

愛臨技事務所移転準備委員会より

研修会

尾張東地区研修会

基礎教科：20点

日時：2021年2月6日(土) 15:00～17:15

開催形式：Web 開催(Live 配信)

テーマ：～ Covid-19 PCR 検査～

～改めて考えてみる感染防止対策～

講師：

1. 「奪われた2020年 ～コロナとの闘い～」

愛知医科大学病院 感染制御部 川本 柚香

2. 「改めて考えてみよう！ 感染対策」

～細菌部門～

名古屋市立東部医療センター 中央検査科 山元 梨歌

～一般部門～

医療法人青山病院 臨床検査科 平田 基裕

～血液系部門～

愛知医科大学病院 中央臨床検査部 鈴木 崇峰

～病理部門～

旭ろうさい病院 中央検査部 新納 瑞稀

～生理部門～

旭ろうさい病院 中央検査部 近藤 里菜

司会：旭ろうさい病院 山村 宗幸

内容：2020年春、Covid-19に対応すべく奔走した感染制御部が当時どのような状況であったのか。Covid-19 PCR 検査の実際や導入してからのエピソードを講演していただきます。

また、検査対象とする物や人によって感染防止対策が異なります。各検査領域における基本的な感染対策を改めて考えてみたいと思います。

Web 配信をご視聴していただくためのログイン情報を、事前登録されたアドレスへメールで送付しますので事前参加登録が必要です。また、生涯教育加点には後日レポート提出が必要です。

【事前参加登録方法】

日臨技 HP 会員専用サイトより[事前参加申込み]を選択して参加登録を行ってください。

【事前参加登録期間】

2021年1月4日～1月28日

【暫定処置開催】講演会

遺伝子染色体検査研究班

専門教科：20点(レポート提出者に限る)

閲覧期間：2021年1月22日(金)～2月4日(木)

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録

2020年12月22日(火)～2021年1月15日(金)

参加費用：なし

レポート：2021年2月17日(水)締切

配信方法：Web 録画

テーマ：「がんゲノム医療への取り組み

～がん遺伝子パネル検査の運用と実情～」

講演 1：「当院におけるがん遺伝子パネル検査の運用

～がんゲノム医療連携病院として～」

JA 愛知厚生連 安城更生病院

臨床検査技術科 杉浦 記弘

講演 2：「当院での院内がん遺伝子パネル検査と

がんゲノム医療への取り組み」

社会医療法人 厚生会 木沢記念病院

検査技術部/中部がんゲノム医療研究センター

澤田 清矢

司会：名古屋第二赤十字病院 岩田 英紘

内容：今回、がんゲノム医療連携病院である2施設の講師に、がん遺伝子パネル検査の実際の運用と取り組みについてお話していただきます。また、がんゲノム医療と臨床検査技師の関わりについても講演していただく予定です。Web 配信の詳細につきましては12月中旬までに遺伝子染色体検査研究班 HP にてお知らせします。多くの方の視聴をお待ちしております。

【暫定処置開催】研究会

微生物検査研究班研究会

専門教科：20点(レポート提出者に限る)

閲覧期間：2021年1月16日(土)～1月29日(金)

参加方法：日臨技 HP から事前参加登録

2020年12月16日(水)～2021年1月9日(土)

参加費用：なし

レポート：2021年2月11日(木)締切

場所：Web(録画)

テーマ：培養検査における釣菌基準を考える

～何を釣菌して検査すべきか～

講演 1：班員施設における釣菌基準の現状

刈谷豊田総合病院 榊原 千紘

講演 2：尿培養の釣菌基準を考える

豊橋市民病院 山本 優

講演 3：呼吸器系材料の釣菌基準を考える

江南厚生病院 河内 誠

講演 4：ケースカンファレンスで学ぶ釣菌基準

名鉄病院 池戸 政博

内容：どの菌を検査するかの基準である釣菌基準は、微生物検査室を悩ませる点の一つである。

今月の研究会では、釣菌基準について掘り下げます。

班員施設へのアンケートから各施設の運用を紹介し、各論では尿培養と呼吸器系材料に焦点を当てて釣菌基準を考えていきます。また、講演4では臨床的な視点も加味した上での釣菌基準についてケースカンファレンス形式でご紹介します。

Web 配信の詳細につきましては1月上旬に微生物研究班 HP でお知らせします。

なお、事前申し込みが必要になりますのでご注意ください。

愛知県臨床検査標準化協議会(Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization: AiCCLS)は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、細胞診アトラス 呼吸器シリーズから(27)と(28)についてご紹介いたします。

これから細胞診を学ぶ若者から経験を積んだベテランまで幅広く活用できるように編集し、細胞画像を多数取り入れ、とても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床衛生検査技師会 HP の、臨床検査標準化情報をご覧ください。(AiCCLS:愛知県臨床検査標準化協議会)

肺転移(甲状腺乳頭癌) AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
細胞診アトラス「呼吸器シリーズ」(27)

患者年齢: 60歳代 性別: 女性 検体種類: 肺門部腫瘍穿刺
臨床背景: 肺門部に甲状腺性腫瘍あり

【判定】 陽性
【細胞所見】
腫瘍細胞は線維血管間質を軸として不規則に分枝した乳頭状集塊(写真1,3)やシート状集塊で出現している。細胞質はライトグリーン好性でやや厚みがあり、クロマチンは微細顆粒状(すりガラス状)、核溝や核内線形質針入体(赤矢印:写真2,3)を高倍率に認める。
【細胞診断のポイント】
本症例は肺門部の甲状腺性腫瘍である。甲状腺性腫瘍との鑑別が重要となるが、肺原発の乳頭状集塊の多くは線野に形成されるため、発生部位も鑑別の手がかりのひとつとなった。さらに、すりガラス状クロマチン、核溝、核内線形質針入体といった甲状腺乳頭癌にみられる特徴的な核所見を認めることから甲状腺乳頭癌の肺転移が疑われた。甲状腺穿刺(写真4)により甲状腺乳頭癌が認められたこと、肺腫瘍の組織・組織所見が類似することから甲状腺乳頭癌の肺転移として矛盾しない。
本症例にも認められた線維血管間質を有する乳頭状集塊を認める腫瘍は、肺、子宮内頸、卵巣など様々な臓器に存在するため、乳頭状集塊のみで肺発症部位を推定することはできない。
肺腫瘍が肺原発腫瘍か転移性腫瘍かの鑑別は、治療方針がそれぞれ異なることから非常に重要である。臨床経過や画像、腫瘍マーカー等の臨床所見をよく確認したうえで、腫瘍病変の標本があるならば必ず比較検討し、免疫組織化学的染色が有用と思われる症例では併用することが望まれる²⁾。特に Thyroglobulin が陽性になる場合は甲状腺癌の信頼度が高い³⁾。

写真1 Pap. 染色 ×20

写真2 Pap. 染色 ×100

写真3 HE 染色 ×40

写真4 Pap. 染色 ×40 (甲状腺穿刺)

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

肺転移(悪性リンパ腫) AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
細胞診アトラス「呼吸器シリーズ」(28)

患者年齢: 30歳代 性別: 女性 検体種類: 気管支肺原洗浄液
臨床背景: 呼吸器 蕁麻疹 蕁麻疹慢性性傾向

【判定】 陽性
【細胞所見】
マクロファージとともに互に互に高い小型細胞を多数認める。小型細胞には上皮性結合は認められない。核には深いくびれ(切れ込み)が目立ち、Papanicolaou 染色では輪状の核染を呈するものが多い。May-Giemsa 染色ではクロマチン程度薄葉一細胞であり、リンパ球由来であると考えられる。中型一大型リンパ球が主体であり、小リンパ球は少数である。
【細胞診断のポイント】
リンパ球は細胞が小さく見落とされがちなため、拡大で詳細に観察することが重要である。顕微鏡では、一見、細胞異型の乏しい小型リンパ球が比較的頻りに出現する。しかし、拡大では核形不整が顕明。May-Giemsa 染色でクロマチン凝集が軽度であり成熟小リンパ球ではないことが分かる。WHOの詳細な分類については評価困難であるが、悪性リンパ腫と推定できる。
本症例は免疫組織化学的染色にて CD3(+), CD4(+), CD8(+), CD20(-), CD79a(-) と示されたことから、未熟性T細胞リンパ腫と診断された。
【定義・概念】
未熟性T細胞リンパ腫は、わが国では全悪性リンパ腫の6~8%、未熟性T/NK細胞リンパ腫の約27%を占めている。男女比は2:1で、多くは成人であるが、まれに小児にもある。臨床的には多様なものを含んでおり、低悪性度のものから高悪性度のものがみられるが、一般的には悪性リンパ腫と比較すると予後は不良である。治療反応性は悪く、5年生存率は20~30%とされている¹⁾。

写真1 Pap. 染色 ×100

写真2 May-Giemsa 染色 ×100

写真3 HE 染色 ×40

写真4 免疫染色 (左)CD3 (右)CD20 ×40

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP (各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



申請書ダウンロード